

2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月9日

上場会社名 バンドー化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5195 URL <https://www.bandogrp.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉井 満隆
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 澤井 幹生 TEL 078-304-2516
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	69,646	18.8	6,291	95.0	7,018	101.6	7,456	117.2	5,523	120.0	6,331	45.7
2021年3月期第3四半期	58,619	△14.8	3,225	△25.1	3,481	△18.3	3,432	△18.0	2,511	△20.7	4,347	35.8

(注) コア営業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	122.36	—
2021年3月期第3四半期	55.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	118,302	74,488	74,211	62.7
2021年3月期	116,282	70,763	70,491	60.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	6.00	—	20.00	26.00
2022年3月期	—	16.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	24.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	10.6	6,000	21.5	6,500	20.9	4,500	14.1	98.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	47,213,536株	2021年3月期	47,213,536株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	2,756,163株	2021年3月期	1,644,973株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	45,140,647株	2021年3月期3Q	45,548,844株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
3. 補足情報	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上収益	58,619	69,646	11,027	18.8
自動車部品事業	24,658	30,590	5,932	24.1
産業資材事業	22,301	25,195	2,894	13.0
高機能エラストマー製品事業	8,514	10,523	2,009	23.6
その他	3,945	3,917	△27	△0.7
調整額	△800	△581	218	—
コア営業利益 (セグメント利益) (△は 損失)	3,225	6,291	3,065	95.0
自動車部品事業	1,287	2,429	1,141	88.7
産業資材事業	1,621	2,738	1,116	68.8
高機能エラストマー製品事業	△308	536	845	—
その他	282	280	△1	△0.6
調整額	342	305	△36	△10.6
営業利益	3,481	7,018	3,536	101.6
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,511	5,523	3,012	120.0

(注) コア営業利益 (△は損失) は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として残るなか、米国においては、供給制約の長期化が企業活動の足かせとなる一方、ワクチンのさらなる普及、積み上がった貯蓄の取り崩しが個人消費を下支えしたことで、景気回復が再加速いたしました。中国では、外需が好調を維持しているほか、個人消費が底堅く推移し、景気は回復基調で推移しました。また、日本やアジア地域においても、活動制限の緩和などを受けた個人消費の回復等を背景に、景気に持ち直しの動きが見られました。一方、欧州では、感染再拡大や供給制約、エネルギー高を受けて景気回復ペースは鈍化いたしました。

当社グループの主要な市場である自動車分野におきましては、米国では、新型コロナウイルス感染症の影響で急落した前年度の生産台数を上回る状況で推移したほか、アジア地域においても、活動制限が緩和された効果などにより、生産台数が総じて前年度を上回る状況で推移いたしました。一方、半導体供給不足の影響もあり、中国、欧州および日本では、生産台数が前年度を下回る状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、中長期経営計画“Breakthroughs for the future” (未来への躍進) の第2ステージの4年目として、「新事業の創出」、「コア事業の拡大」、「ものづくりの深化と進化」、「個人と組織の働き方改革」の4つの指針を掲げ、グローバルで「際立つ」サプライヤーを目指して活動してまいりました。嚙下分野における社会的ニーズの拡大が見込まれるなか、新製品として、当社が独自開発した伸縮性ひずみセンサ「C-STRETCH®」を用いたヘルスケア機器である嚙下運動モニタ「B4S™」(ビーフォーエス)の販売を開始いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間は、前年同期の新型コロナウイルス感染症の影響からの景気持ち直しの動きもあり売上収益は69,646百万円(前年同期比18.8%増)、コア営業利益は6,291百万円(前年同期比95.0%増)、営業利益は7,018百万円(前年同期比101.6%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は5,523百万円(前年同期比120.0%増)となりました。

事業（セグメント）別の状況は、次のとおりであります。

[自動車部品事業]

国内においては、積極的な営業活動により補修市場向けに品揃えを拡大したことに加え、主要顧客の自動車生産台数の増加により、補機駆動用伝動ベルト（リブエース®など）および補機駆動用伝動システム製品（オートテンションなど）の販売が増加いたしました。

海外においては、中国において主要顧客の生産台数の増加や補修市場への拡販により補機駆動用伝動ベルトなどの販売が伸びました。また、米国、欧州およびアジア地域においても販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は30,590百万円（前年同期比24.1%増）、セグメント利益は2,429百万円（前年同期比88.7%増）となりました。

[産業資材事業]

一般産業用伝動ベルトにつきましては、国内においては、民間設備投資の増加により産業機械用伝動ベルトの販売が増加したことに加え、農業機械用伝動ベルトの販売も増加いたしました。海外においては、中国、アジア地域において農業機械用および産業機械用伝動ベルトの販売が増加し、米国および欧州地域において産業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。

運搬ベルトにつきましては、国内においてコンベヤベルトおよび樹脂コンベヤベルト（サンライン®ベルト）の販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は25,195百万円（前年同期比13.0%増）、セグメント利益は2,738百万円（前年同期比68.8%増）となりました。

[高機能エラストマー製品事業]

機能フィルム製品につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により一時停滞していた需要が回復したこともあり、建築資材用フィルムの販売が増加いたしました。また、医療用、工業資材用および装飾表示用フィルムなどの販売も増加いたしました。

精密機能部品につきましては、主要顧客の生産回復により、精密ベルト、高機能ローラおよびブレードなどの販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は10,523百万円（前年同期比23.6%増）、セグメント利益は536百万円（前年同期はセグメント損失308百万円）となりました。

[その他事業]

その他の事業といたしましては、ロボット関連デバイス事業、電子資材事業および医療機器事業などを行っており、売上収益は3,917百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント利益は280百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

上記の各セグメント別売上収益およびセグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、流動資産が4,974百万円増加し、非流動資産が2,953百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ2,020百万円増加し、118,302百万円となりました。

負債は、流動負債が324百万円減少し、非流動負債が1,379百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ1,704百万円減少し、43,814百万円となりました。

資本は、利益剰余金が4,768百万円増加し、自己株式が991百万円増加し、その他の資本の構成要素が84百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ3,725百万円増加し、74,488百万円となりました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末の60.6%から62.7%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首残高に比べ696百万円減少し、18,167百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な増減要因は、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ524百万円収入が減少し、6,396百万円の収入超過となりました。これは主に、棚卸資産、営業債権及びその他の債権ならびに営業債務及びその他の債務の増加が、税引前四半期利益の増加を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ2,259百万円収入が増加し、420百万円の収入超過となりました。これは主に、資本性金融商品の売却による収入の増加によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ5,871百万円支出が増加し、7,590百万円の支出超過となりました。これは主に、有利子負債の削減に加え、自己株式の取得による支出や配当金の支払いなどの株主還元増加によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月13日に公表いたしました連結業績予想のとおりであります。

なお、第3四半期までの業績は当初予想を上回って推移しているものの、半導体の供給不足による主要顧客の減産や原材料価格の高騰など、依然として業績の下振れリスクが残ることに加え、当社および一部の国内子会社において当年度中に賞与制度の変更を実施することを検討しており、一時的な営業費用が発生する可能性があることから、連結業績予想を据え置いております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	18,863	18,167
営業債権及びその他の債権	20,467	23,081
棚卸資産	13,038	15,010
未収法人所得税	31	71
その他の金融資産	435	615
その他の流動資産	823	1,689
流動資産合計	53,660	58,634
非流動資産		
有形固定資産	32,880	32,110
のれん	8,601	8,600
無形資産	4,413	4,047
持分法で会計処理されている投資	7,038	7,743
その他の金融資産	8,663	6,152
繰延税金資産	521	621
その他の非流動資産	502	392
非流動資産合計	62,622	59,668
資産合計	116,282	118,302

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	14,070	15,576
社債及び借入金	8,012	5,073
未払法人所得税	549	1,192
その他の金融負債	876	814
引当金	5	6
その他の流動負債	4,144	4,669
流動負債合計	27,658	27,333
非流動負債		
社債及び借入金	11,987	10,750
退職給付に係る負債	751	765
その他の金融負債	1,310	1,634
繰延税金負債	1,654	1,445
その他の非流動負債	2,157	1,886
非流動負債合計	17,860	16,481
負債合計	45,519	43,814
資本		
資本金	10,951	10,951
資本剰余金	3,075	3,102
利益剰余金	55,857	60,625
自己株式	△1,622	△2,613
その他の資本の構成要素	2,230	2,145
親会社の所有者に帰属する持分合計	70,491	74,211
非支配持分	271	276
資本合計	70,763	74,488
負債および資本合計	116,282	118,302

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	58,619	69,646
売上原価	40,778	47,913
売上総利益	17,840	21,732
販売費及び一般管理費	14,614	15,441
その他の収益	205	342
その他の費用	178	198
持分法による投資利益(△は損失)	228	582
営業利益	3,481	7,018
金融収益	270	527
金融費用	319	89
税引前四半期利益	3,432	7,456
法人所得税費用	912	1,929
四半期利益	2,519	5,526
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	2,511	5,523
非支配持分	8	3
四半期利益	2,519	5,526
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	55.13	122.36

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	2,519	5,526
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の 公正価値の純変動	1,196	287
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	67	6
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,263	293
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	261	180
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	302	330
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	563	511
その他の包括利益合計	1,827	804
四半期包括利益	4,347	6,331
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	4,350	6,318
非支配持分	△3	12
四半期包括利益	4,347	6,331

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2020年4月1日 残高	10,951	3,075	52,301	△1,692	△988	63,648	261	63,909
四半期利益			2,511			2,511	8	2,519
その他の包括利益					1,839	1,839	△12	1,827
四半期包括利益合計	—	—	2,511	—	1,839	4,350	△3	4,347
剰余金の配当			△1,003			△1,003	△9	△1,012
自己株式の取得				△1		△1		△1
自己株式の処分		△27		72		44		44
株式に基づく報酬取引						—		—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			487		△487	—		—
所有者との取引額等合計	—	△27	△515	70	△487	△960	△9	△969
2020年12月31日 残高	10,951	3,047	54,296	△1,621	363	67,039	248	67,287

当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2021年4月1日 残高	10,951	3,075	55,857	△1,622	2,230	70,491	271	70,763
四半期利益			5,523			5,523	3	5,526
その他の包括利益					795	795	9	804
四半期包括利益合計	—	—	5,523	—	795	6,318	12	6,331
剰余金の配当			△1,634			△1,634	△7	△1,642
自己株式の取得				△991		△991		△991
自己株式の処分						—		—
株式に基づく報酬取引		27				27		27
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			879		△879	—		—
所有者との取引額等合計	—	27	△754	△991	△879	△2,598	△7	△2,606
2021年12月31日 残高	10,951	3,102	60,625	△2,613	2,145	74,211	276	74,488

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,432	7,456
減価償却費及び償却費	4,451	4,392
受取利息及び受取配当金	△267	△268
支払利息	105	80
持分法による投資損益 (△は益)	△228	△582
固定資産除売却損益 (△は益)	68	18
棚卸資産の増減額 (△は増加)	729	△1,862
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	415	△2,590
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	218	1,588
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1	31
引当金の増減額 (△は減少)	△15	0
その他の非流動負債の増減額 (△は減少)	△301	△258
その他	△554	△291
小計	8,051	7,713
利息及び配当金の受取額	359	539
利息の支払額	△97	△76
法人所得税の支払額	△1,454	△1,789
法人所得税の還付額	61	9
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,920	6,396
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△456	△504
定期預金の払戻による収入	622	340
有形固定資産の取得による支出	△2,466	△2,394
有形固定資産の売却による収入	54	83
無形資産の取得による支出	△257	△85
資本性金融商品の取得による支出	△17	△12
資本性金融商品の売却による収入	707	2,900
持分法で会計処理される投資の取得による支出	—	△28
その他	△26	121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,839	420

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金（3ヶ月以内）の純増減額（△は減少）	△536	△2,962
短期借入れ（3ヶ月超）による収入	2,000	—
短期借入金（3ヶ月超）の返済による支出	△2,000	—
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,335	△1,200
リース負債の返済による支出	△877	△794
自己株式の取得による支出	△0	△990
自己株式の売却による収入	44	—
親会社の所有者への配当金の支払額	△1,003	△1,634
非支配持分への配当金の支払額	△9	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,718	△7,590
現金及び現金同等物に係る換算差額	151	77
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,513	△696
現金及び現金同等物の期首残高	14,493	18,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,007	18,167

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービスを軸とした事業部制を採用しており、各事業部は取り扱う製品・サービスについて国内および海外における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従いまして、当社グループの事業は親会社の事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車部品事業」、「産業資材事業」および「高機能エラストマー製品事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントは、次の製造・販売を行っております。

セグメントの名称	主要な製品
自動車部品事業	自動車用伝動ベルト製品（補機駆動用伝動ベルトおよび補機駆動用伝動システム製品）、二輪車用伝動ベルト製品（スクーター用変速ベルト）など
産業資材事業	一般産業用伝動ベルト製品（産業機械用Vベルト、歯付ベルト、プーリなど）、その他伝動用製品、運搬ベルト（コンベヤベルト、樹脂コンベヤベルト、同期搬送用ベルト）、運搬システム製品、もみすりロールなど
高機能エラストマー製品事業	クリーニングブレード、高機能ローラ、精密ベルト、ポリウレタン機能部品、精密研磨材、建築資材用フィルム、医療用フィルム、装飾表示用フィルム、工業用フィルムなど

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失の金額に関する情報

報告されている各事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した方法と概ね同一であります。セグメント間の売上収益または振替高は市場実勢価格に基づいております。当社グループの報告セグメントごとの売上収益および利益または損失は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	自動車部 品事業	産業資材 事業	高機能エ ラストマ ー製品事 業	計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	24,657	22,234	8,496	55,388	3,230	—	58,619
セグメント間の売上収益 または振替高	0	66	18	85	714	△800	—
計	24,658	22,301	8,514	55,473	3,945	△800	58,619
セグメント利益 (コア営業利益) (△は損 失)	1,287	1,621	△308	2,600	282	342	3,225
その他の収益	—	—	—	—	—	—	205
その他の費用	—	—	—	—	—	—	178
持分法による投資利益 (△は 損失)	—	—	—	—	—	—	228
営業利益	—	—	—	—	—	—	3,481
金融収益	—	—	—	—	—	—	270
金融費用	—	—	—	—	—	—	319
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	3,432

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として医療機器事業およびロボット関連デバイス事業他であります。

2. セグメント利益 (△は損失) の調整額342百万円には、セグメント間取引消去△15百万円、全社費用357百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。

3. 当社グループは、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したコア営業利益を、経営管理上の指標としており、セグメント利益 (△は損失) はコア営業利益で表示しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	自動車部 品事業	産業資材 事業	高機能エ ラストマ ー製品事 業	計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	30,590	25,171	10,491	66,253	3,392	—	69,646
セグメント間の売上収益 または振替高	0	24	32	56	525	△581	—
計	30,590	25,195	10,523	66,310	3,917	△581	69,646
セグメント利益 (コア営業利益) (△は損 失)	2,429	2,738	536	5,704	280	305	6,291
その他の収益	—	—	—	—	—	—	342
その他の費用	—	—	—	—	—	—	198
持分法による投資利益 (△は 損失)	—	—	—	—	—	—	582
営業利益	—	—	—	—	—	—	7,018
金融収益	—	—	—	—	—	—	527
金融費用	—	—	—	—	—	—	89
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	7,456

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として医療機器事業およびロボット関連デバイス事業他であります。
2. セグメント利益 (△は損失) の調整額305百万円には、セグメント間取引消去2百万円、全社費用303百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。
3. 当社グループは、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したコア営業利益を、経営管理上の指標としており、セグメント利益 (△は損失) はコア営業利益で表示しております。

3. 補足情報

[海外売上収益]

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

	アジア	中国	欧米他	計
I 海外売上収益(百万円)	19,873	7,620	8,290	35,785
II 連結売上収益(百万円)				69,646
III 連結売上収益に占める海外売上収益の割合(%)	28.5	10.9	11.9	51.4

(注) 1. 海外売上収益は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域に対する売上収益であります。

2. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

(1) 国または地域の区分の方法は、地理的接近度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域

アジア……………タイ、韓国、インド、ベトナム、インドネシアほか

中国……………中国、香港

欧米他……………米国、ヨーロッパ、中南米、オセアニアほか